

Takahashi・Niimi

高梁・新見圏版

電子版なら他の地域版も読める

山陽新聞デジタル

<https://www.sanyonews.jp>

高梁に仏アンペール高訪問団

高梁市と昨年5月、教育交流協定を結んだフランス・アンペール高の訪問団が初めて来市した。23日までの滞在期間中、市内の高校で授業に参加。観光も楽しみながら日本文化に触れ、友好を深める。(小林貴之)



日本料理、漫画楽しみ

高校授業参加、観光も

一行は日本語を学ぶ16〜18歳の生徒8人と教員2人で16日夜に到着。17日は市役所で近藤隆則市長を表敬訪問し、アンヌマリー・ブルジャス校長が「素晴らしい歓迎に感謝している。日本での体験を生徒の将来に生かしたい」とあいさつした。

近藤市長は「皆さんを迎える日を心待ちにしていた」と述べ、備中松山城(内山下)の絵はがきなど記念品を全員にプレゼント。特産の柿餅と緑茶も提供し、生徒らは「とてもおいしい」と笑顔で味わった。

「日本料理やホストファミリーと過ごすのが楽しみ」とルアン・ホルデさん(19)。タン・ツアラヌさん(18)は「高梁は町がとてもきれい。日本の漫画をたくさん読みたい」と話した。

フランスは日本文化への関心が高く、リヨン市にあるアンペール高では年間約150人の生徒が日本語を学ぶ。2015年、当時の在リヨン日本領事事務所長が岡山市出身者だったことなどを縁に、同高から協定の打診があった。

市役所を表敬訪問し、柿餅と緑茶を味わったアンペール高の生徒ら